

講義・演習)に関しては、他の中上級者向け(英語での講義)セミナーと内容を調整しながら、更に充実したプログラムにしてゆきたい。また、セミナーの効果が質の良い臨床研究に繋がるよう、改善を継続し、その効果を示していきたい。――

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

<Published or in press>

[1] Kanai A, Wang G, Hoshi K, Okamoto H. Effects of intravenous prostaglandin E1 on pain and body temperature in patients with post-herpetic neuralgia. *Pain Med.* 11: 609-16.

[2] 星佳芳, 緒方裕光. 第2章健康危機管理 第2章1. 健康危機管理とは?(相澤好治 監修, 和田耕治, 太田寛 編集) 臨床医のためのパブリックヘルス; 中外医学社, 東京, 2010, pp.11-21.

[3] 水ぎせる禁煙のための介入 (2010 issue 3, Updated) Interventions for waterpipe smoking cessation. Maziak W, Ward KD, Eissenberg T. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2007, Issue 4. Art. No.: CD005549. DOI: 10.1002/14651858.CD005549.pub2. 翻訳 星佳芳・監訳 埴岡 隆; JCOHR, 財団法人日本医療機能評価機構、Minds(電子出版 <http://minds.jcqhc.or.jp>)

[4] 禁煙促進のためのパートナーによる支援の強化 (2008 issue 3, Updated) Enhancing partner support to improve smoking cessation. Park EW, Schultz

JK, Tudiver FG, Campbell T, Becker LA. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2004, Issue 3. Art. No.: CD002928. DOI:

10.1002/14651858.CD002928.pub2. 翻訳 坂本泰理・星佳芳 監訳 中村正和; JCOHR, 財団法人日本医療機能評価機構、Minds(電子出版 <http://minds.jcqhc.or.jp>)

[5] 禁煙のための催眠療法 (2008 issue 4, Updated) Hypnotherapy for smoking cessation. Abbot NC, Stead LF, White AR, Barnes J. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 1998, Issue 2. Art. No.: CD001008. DOI:

10.1002/14651858.CD001008 翻訳 王国琴・星佳芳・監訳 埴岡 隆; JCOHR, 財団法人日本医療機能評価機構、Minds(電子出版 <http://minds.jcqhc.or.jp>)

[6] 相澤好治、小倉英郎、木村五郎、熊野宏昭、中村陽一、坂部貢、長谷川真紀、森千里、吉野博、秋山一男、角田和彦、寺沢政彦、北條祥子、水城まさみ、宮田幹夫、角田 正史、星佳芳、王国琴、尾島正幸、宮島江里子、杉浦由美子、小松裕美、小沢学. シックハウス症候群の診断基準の検証に関する研究-全国疫学調査によるシックハウス症候群診断基準妥当性の検討. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 総括研究報告書

[7] 相澤好治、小倉英郎、木村五郎、熊野宏昭、中村陽一、坂部貢、長谷川真紀、森千里、吉野博、秋山一男、角田和彦、寺沢政彦、北條祥子、水城まさみ、宮田

幹夫、角田正史、星佳芳、王国琴、尾島正幸、宮島江里子、杉浦由美子、小松裕美、小沢学. シックハウス症候群の診断基準の検証に関する研究-全国疫学調査によるシックハウス症候群診断基準妥当性の検討-.平成21、22年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）総合研究報告書

[8] 相澤好治、木戸尊將、坂部貢、伊藤俊洋、角田正史、星佳芳、宮島江里子、王国琴、岩城義啓、杉浦由美子、小松裕美、小沢学、片桐裕史. 新築校舎における揮発性有機化合物の室内濃度測定とシックビル症候群に関する自覚症状調査. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金「健康安全・危機管理対策総合研究事業（研究代表者：相澤好治）」分担研究報告書

[9]木野孔司、覚道健治、杉崎正志、星佳芳、湯浅秀道、松香芳三、齋藤高、西山暁. 顎関節症の診療ガイドライン作成における"Patient Question"収集のための患者

ボランティアに対する個別面接調査. 日本顎関節学会雑誌 22: 151-157.2010.

[10]覚道健治、木野孔司、杉崎正志、湯浅秀道、松香芳三、齋藤高、星佳芳. GRADEシステムによる顎関節症初期診療ガイドラインの作成. 日本歯科医学会誌. 29: 52-56.2010.

<Ready for submission>

[1]Ogawa F, Wang G, Hoshi K, et al. Is Age a Risk Factor of Postoperative Complication and Surgical Resection an Effective Treatment for Patients with Non-small Cell Lung Cancer? *Journal of Thoracic Oncology*. 2011; in submission

[3]Aiba N, ...Wang G, Hoshi K, et al. Pet-ownership contributes to the modulation of the autonomic nervous activity as the independent factor in patients with lifestyle-related disease 2011; in submission

資料1：「初学者のための臨床研究支援講座」「医学文献検索講座」開催要項一覧

「初学者のための臨床研究支援講座（1）～臨床研究・統計が苦手なのは、なぜ？」

- ・日時：2010年4月28日（水）18:00-19:30
- ・講師：湯浅秀道（東海市民病院分院）
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター（KCRC）
- ・講義概要：講義形式
- ・事前資料：参加登録完了メールとともに事前資料のご案内を通知します。
- ・受講資格：学内の方
- ・定員：50名（申込多数のため、定員を100名に変更（2010.4.7））

「初学者のための臨床研究支援講座（2）～コホート研究」

- ・日時：2010年5月12日（水）18:00～19:30
- ・講義内容：コホート研究の基礎知識、コホート研究の実際例と苦勞、コホート研究をまとめる際の統計学
- ・講師：佐藤康仁 / 東京女子医科大学・医学部衛生学公衆衛生学（II）
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター（KCRC）
- ・講義概要：講義形式
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：50名

「初学者のための臨床研究支援講座（3）～症例対照研究」

- ・日時：2010年5月26日（水）18:00～19:30
- ・講義内容：症例対照研究の基礎知識、症例対照研究の実際例と苦勞、症例対照研究をまとめる際の統計学
- ・講師：佐藤康仁 / 東京女子医科大学・医学部衛生学公衆衛生学（II）
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター（KCRC）
- ・講義概要：講義形式
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：50名

「初学者のための臨床研究支援講座（4）～生存分析（入門編）」

- ・日時：2010年5月29日（土）13:30-14:30

- ・講師：王 国琴 北里大学 神奈川県地域周産期・救急医療連携教育寄付講座/医学部附属臨床研究センター
- ・講義内容：生存分析概説、人年法、カプランマイヤー分析(SPSS 実例紹介)、コックス比例ハザード分析 etc
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター (KCRC)
- ・講義形式
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：各回 50名
- ・受講料：無料

「初学者のための臨床研究支援講座（5）～診断の研究論文を書く（入門編）、摂食嚥下障害の場合」

- ・日時：2010年5月29日(土)15:30-17:00
- ・講師：戸原 玄 日本大学歯学部摂食機能療法学講座・准教授
- ・講義内容：摂食嚥下障害の診断と治療、感度、特異度、ROC 曲線(SPSS 実例紹介) etc
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター (KCRC)
- ・講義形式
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：各回 50名
- ・受講料：無料

「初学者のための臨床研究支援講座（6）～ゲノム情報を利用した疫学研究の立案・論文化のポイント」

- ・日程：2010年11月22日（月）18：00～19：30
- ・場所：【講演会場】相模原キャンパス：医学部 M1号館 31 講義室  
【同時中継会場】白金キャンパス：法人本部 4F 会議室
- ・講師：宮木幸一 国立国際医療研究センター医療情報解析研究部臨床疫学研究室長
- ・受講料：無料
- ・定員：【講演会場】相模原キャンパス：50名  
【同時中継会場】白金キャンパス：30名
- ・主催：北里大学医学部附属臨床研究センター (KCRC)
- ・共催：北里大学北里研究所病院 研究部・臨床試験部

「初学者のための臨床研究支援講座 (7) A: 統計ソフト「Stata」セミナー入門コース」

\*今後、相模原キャンパス医学部マルチメディア学習室に「Stata」が導入されます。

- ・日時：2011年3月5日(土) 12:30～16:30
- ・場所：北里大学医学部 M2号館 3階 マルチメディア学習室
- ・講習内容：度数分布表、ヒストグラム、散布図の作成、平均・標準偏差、相関係数の算出、単回帰/重回帰モデルの推定と結果の見方、ダミー変数の取り扱い方法
- ・講義形式：PC演習あり
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：15名(申込多数の為、22名に変更。 2011/3/3)

「初学者のための臨床研究支援講座 (7) B: 統計ソフト「Stata」セミナー医療統計コース」

- ・日時：2011年3月10日(木) 16:30～20:30
- ・場所：北里大学医学部 M2号館 3階 マルチメディア学習室
- ・講習内容：
  1. ROC分析：ROC分析に関連して、以下の項目についてコマンドの用法を説明します。(1) 分割表の作成(2) ROC曲線のプロット (3) 曲線下面積(AUC)の算出(4) AUCの比較検定
  2. 疫学系テーブル分析：コホート研究、症例対照研究を対象に、関連するテーブル分析機能の用法を説明します。(1) 罹患率データの分析 (2) 累積罹患率データの分析 (3) 症例対照データの分析
  3. 生存時間分析：生存時間分析に関連して、以下の項目についてコマンドの用法を説明します。(1) stsetコマンドの用法(2) ノンパラメトリック解析(3) セミパラメトリック解析 -Cox比例ハザードモデル(4) パラメトリック解析
- ・講義形式：PC演習あり
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：15名(申込多数の為、22名に変更。 2011/3/3)

「初学者のための臨床研究支援講座 (8) 統計ソフト「SPSS」セミナー」

\*今回のセミナーは、「SPSS」が使える環境にあるのに活用できていない方のために行うものであり、「SPSS」の購入をお勧めするためのものではありません。

第1回

- ・日時：2011年3月15日(火) 10:30～17:30(12:30～13:30休憩)
- ・場所：北里大学 医学部 M1号館 9階 集談室(1)

第2回

- ・日時：2011年3月16日(水) 10:30～17:30(12:30～13:30休憩)
- ・場所：北里大学 医学部 M1号館 9階 集談室(4)

- ・講習内容：各回共通
    - 1 変量の要約：度数分布表、記述統計、棒・円グラフ、ヒストグラム、
    - 2 変量の関係：カイ二乗検定、散布図、相関、t-検定、分散分析、生存分析：Kaplan-Meier、多変量解析、単回帰解析/重回帰解析、ロジスティック回帰、ROC 曲線、生存分析、Cox 回帰（比例ハザード）など
  - ・講義形式：座学・PC演習なし
  - ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
  - ・定員：各回 25 名
- 

#### 【EndNote セミナー】

「最新版 EndNote X3 を使った文献情報の効果的な活用方法」

(Windows 版での説明：Mac 版と基本操作は同じです)

共催：医学部附属臨床研究センター (KCRC)・医学図書館

- ・講義概要
    - 初級編（講義形式）
      - 1.各種データベースから EndNote への取り込み (PubMed、医中誌 Web 他)
      - 2.参考文献リストの作成方法
      - 3.その他、便利な機能説明、PDF ファイルの自動ダウンロード他
  - ・日程：4/13(火)、4/21(水) の 2 日間
  - ・時間：(1)16:00-16:50、(2)17:00-17:50、(3)18:00-18:50 の 1 日 3 回
  - ・場所：医学部 M2 号館 3 階マルチメディア学習室内・グループ学習室
  - ・受講料：無料
  - ・定員：各回 10 名
  - ・共催：医学部附属臨床研究センター (KCRC)・医学図書館
- 

「医学文献検索講座 (1) ～研究を始める前に既存のエビデンスを収集しよう！」

- ・日時：2010 年 5 月 15 日(土) 13:00-16:30
- ・講師：山口直比古 (東邦大学医学メディアセンター)
- ・場所：医療衛生学 A3 号館 2F 情報演習室
- ・共催：医学部附属臨床研究センター (KCRC)・医学図書館
- ・講義概要：講義+PCによる検索演習
- ・受講資格：学内の方
- ・定員：50 名 (申込多数のため、キャンセル待ちとする (2010.4.14))

「医学文献検索講座（2）～診断の研究論文・情報を収集する（入門編）」

- ・日時：2010年5月29日(土)14:40-15:20
- ・講師：星 佳芳 北里大学医学部衛生学公衆衛生学
- ・講義内容：診断論文のエビデンスレベル、PubMed 検索（診断の論文）、最新の診断法の探し方 etc
- ・場所：医学部M1号館M31講義室
- ・主催：医学部附属臨床研究センター（KCRC）
- ・講義形式
- ・参加資格：北里大学職員・学生・病院職員
- ・定員：50名
- ・受講料：無料

以上

## 資料2 セミナー開催のテーマと開催日

### ◆初学者のための臨床研究支援講座 シリーズ◆

- ・平成22年4月28日「初学者のための臨床研究支援講座（1）臨床研究・統計が苦手なのは、なぜ？」参加者：74名
- ・平成22年5月12日「初学者のための臨床研究支援講座（2）コホート研究」参加者：91名
- ・平成22年5月26日「初学者のための臨床研究支援講座（3）症例対照研究」参加者：71名
- ・平成22年5月29日「初学者のための臨床研究支援講座（4）生存分析（入門編）」参加者：43名
- ・平成22年5月29日「初学者のための臨床研究支援講座（5）診断の研究論文を書く」参加者：32名
- ・平成22年11月22日「初学者のための臨床研究支援講座（6）ーゲノム情報を利用した疫学研究の立案・論文化のポイントー」参加者：36名
- ・平成23年3月5日「初学者のための臨床研究支援講座(7) (A)統計ソフト「Stata」セミナー：入門コース参加者：21名
- ・平成23年3月10日「初学者のための臨床研究支援講座(7) (B)統計ソフト「Stata」セミナー：医療統計コース参加者：18名
- ・平成23年3月16-17日「初学者のための臨床研究支援講座(8) (C)統計ソフト「SPSS」セミナー参加者：30名(延人数)
- .....
- ・平成22年4月13日, 21日  
「EndNoteセミナー・最新版 EndNote X3 を使った文献情報の効果的な活用方法」参加者： 91名
- .....

### ◆医学文献検索講座 シリーズ◆

- ・平成22年5月15日「医学文献検索講座（1）研究をはじめる前に既存のエビデンスを収集しよう」参加者：38名
- ・平成22年5月29日「医学文献検索講座（2）診断の研究論文・情報を収集する（入門編）」参加者：36名

以上



### 資料3. 参加者アンケート結果一覧

「初学者のための臨床研究支援講座（1）～臨床研究・統計が苦手なのは、なぜ？」参加者アンケート

1. 2010.04.28(水) 初学者のための臨床研究支援講座 ～臨床研究・統計が苦手なのは、なぜ？～ について、セミナー全体の満足度をお聞かせ下さい。 <span style="float: right;">Actions   ▼</span>			
満足		8	62%
どちらかといえば満足		3	23%
どちらかといえば不満足		2	15%
不満足		0	0%
<b>Total</b>		<b>13</b>	<b>100%</b>

2. あなたは、臨床研究に関してどのようなお立場ですか？(複数選択可) <span style="float: right;">Actions   ▼</span>			
指導者		1	7%
研究実施統括者		2	14%
研究プロトコル(研究計画書)作成担当		5	36%
研究実施実務者(例えば、対象者となる患者さんの治療に直接かかわるetc)		7	50%
研究事務局実務者(研究協力者の先生からのお問い合わせ対応なども担当etc)		1	7%
解析担当		3	21%
論文執筆者		6	43%
これまでに臨床研究に携わった経験が無い		5	36%
その他 <a href="#">View Responses</a>		1	7%

3. 今回の講座の中で、「最も役にたつと思った内容」を記入してください。	
#	Response
1	研究を行う前に統計手法を良く考え、決めてから研究をスタートすること。
2	方法論
3	群を3群以上としないこと。
4	先に統計手法を決めてから研究を始めるという点
5	研究計画のたて方
6	プロトコルの書き方の実践
7	結果(endpoint)を数字ではなく、解釈して評価する」というところ
8	事前に厳密な研究計画を立てること なるべくシンプルな計画にすること
9	今後、臨床研究を行う際に研究計画を立てるときに統計方法を検討する重要性
10	現実的な臨床研究の計画の立て方 スクラップブックについて
11	計画書の重要性

4. 臨床研究を行ったことがある方は、その際、どのようなことで苦労されたかご記入ください。	
#	Response
1	介入への脱落者の統計的扱い
2	今日の話を聞くまでやはり計画が大切であると感じられた。何を調べたらよいのかという点が不明であったと思います。勉強不足の為、本当に何をどうしたらいいのか分からないのが事実です。
3	症例数(サンプル数)の設定
4	サンプルサイズの設定 統計手法の選択
5	プロトコル作成 解析、論文作成、科としてのシステム作り(データベース作り)
6	サンプルサイズ デザイン(目的に対しどのようなデザインがよいか)
7	症例の数、選択
8	多変量解析、ROC曲線の作成

5. 臨床研究を行ったことが無い方は、どのようなことが障害となって研究が実施できないか、ご記入ください。

#	Response
1	統計手法
2	また学生であること

6. 医学統計について、今回、もう少し深く聞きたかった内容などをご記入ください。

#	Response
1	特になし
2	T検定の実際など
3	循環器内科猪又先生が質問して下さいました内容でした。
4	サンプルサイズの設定
5	「統計ライブラリー(スクラップブック)」の典型例どいうDataでどいう解析がよいかなどを具体例でいくつか
6	・Sample sizeの・E-learningのSiteもいくつかあるけど、おすすめのもの
7	多変量解析

7. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればご記入ください。

#	Response
1	具体的事例に沿った統計手法の連続レクチャー
2	特になし
3	この時間が一番良いと思います。
4	定期的に臨床研究への「数値」が低くなるように講習を続けて欲しい。科としての体制、システム作りについてなど。
5	生存解析

「初学者のための臨床研究支援講座(4)～生存分析(入門編)：王」「医学文献検索講座(2)～診断の研究論文・情報を収集する(入門編)：星」「初学者のための臨床研究支援講座(5)～診断の研究論文を書く(入門編)、摂食嚥下障害の場合：戸原」参加者アンケート

1. 参加者アンケート2010.05.29(土) (A) 生存分析(王) (B) 診断の研究論文・情報を収集する(星) (C) 診断の研究論文を書く・摂食嚥下障害の場合(戸原) について、本日のセミナー全体の(あなたが聴講された部分)に対する(全体的な満足度)をお聞かせ下さい。				Actions
満足		12	50%	
どちらかといえば満足		10	42%	
どちらかといえば不満足		2	8%	
不満足		0	0%	
<b>Total</b>		<b>24</b>	<b>100%</b>	

2. 本日、あなたが聴講された講座を選択してください(複数選択可)。				Actions
(A) 生存分析(王)		22	92%	
(B) 診断の研究論文・情報を収集する(星)		20	83%	
(C) 診断の研究論文を書く・摂食嚥下障害の場合(戸原)		17	71%	

3. 今回の講座の中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

#	Response
1	生命表分析と Kaplan-Meier の違い Mesh 診断法の機軸のいろいろ
2	生存分析の基礎
3	lai のデータがどのように扱われているかが分かった事です。
4	生存分析法の実際、の一部。PUBMED 活用法。
5	生存曲線の語は、大変役に立ちました。また、Pubmed も以前から使っていたのですが、使い方を分かっていなかったので、新たな発見がありました。ROC 曲線の語も面白かったです。
6	Kaplan-Meier、生存分析
7	生存分析の実際。文献検索法。
8	生存分析曲線の書き方が詳しく説明されておりわかりやすかった
9	イベントと打ち切りの理解 Kaplan-Meier 法と生命表法の違い
10	統計的手法の原理の確認(Kaplan-Meier、生命表法) 文献検索(特にエビデンスレベルの高い論文の検索法) ROC 曲線について
11	PUBMED 検索
12	星先生の Pub Med の講習はわかりやすかったです。

13	「生存分析」について詳しく知ることができました。・戸原先生のお話を聞いて、臨床研究の考え方を知ることができました。
14	すべてです。
15	星先生の情報収集と臨床的に戸原先生の嚆下障害の話は実臨床で勉強になりました。
16	王先生の生存時間では、時間とイベントを分けて解析し、その後、生存時間分析を解説されたので、生存時間分析の本質を頭の中で整理できる内容でありました。星先生の講義では、PubMedの使い方のプリントを頂き、大変、助かりました。戸原先生の diagnostic research では、教科書には載っていない貴重な事例のお話が聞けました。
17	実際に閲覧すると役立つ海外サイトの紹介 PubMedの使い方の資料
18	生存分析の説明がわかりやすく、理解できた「診断の論文・情報収集」は今まで知らなかった情報源をたくさん教えていただき、今後役に立ちそうだった
19	生存分析の基礎がよくわかりました。
20	生存分析の概念 Kaplan-Meier法と生命表法での生存曲線の比較 PubMed検索の仕方(エール大学 Finding Evidence in PubMed) 診断論文に使用する統計(SPSS)の実例
21	生存分析、 Kaplan-Meier法

4. 本日の講習の中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

#	Response
1	Cox分析 PubMedでの文献のしぼり方 カットオフ値の決め方
2	検定、推定、統計解析などの基礎的事項を教えてください。
3	打ち切りの分布が、結果に及ぼす影響を少し聞きたかったです。ポアンソ分布に興味がありました。
4	生存分析は、初心者向けといっても基本の統計を知っている事が前提、また生存分析自体やったことある人が前提。多変量については理解できなかったもので、それについてはよく知りたい。
5	生存曲線の話はもっと聞きたかったです(特にCox比例ハザードと Kaplan-Meierの話)。
6	難しいものかと思いましたが、自分の研究にも積極的に使って行けそうだと思います。
7	Cox比例ハザード回帰分析について。今後の講義を楽しみにしています。
8	ROC曲線は、どう変数を設定していくかなど、もう少し詳しく教えていただきたいかった
9	いわゆる観察研究の論文執筆するにあたって、統計手法の用い方を具体的な例を挙げるなどの講義を今後も期待します。
10	言葉の問題があるのかもかもしれませんが、ややきつとりにくい部分が目立った印象があります。(簡単な内容うまく伝わりにくいなど)
11	診断に対しての統計を詳しく聞きたかった
12	星先生のお話はざっと時間調整のため短くされたのだろうなあと感じ、後で配布物を読み返してみたところ、たいへん重要な情報だと思いました。耳で聞くことができれば、講習時間内に頭にも染み込んだかも知れませんが。
13	王先生は早口で いろいろ伝えたいお気持ちわかるのですが 非常に難しかったです。
14	王先生の生存時間では、「打ち切り」について具体例を挙げて頂き、informative censoringについて話して頂ければ、SPSSで対応可能な範囲と対応できない範囲が分かるのではないかと感じました。星先生の講義では、実際に自分のノートPCで実習できる時間があれば嬉しいです。
15	PubMedの検索に対する実際の使い方 Keywordの組み合わせ方
16	感度・特異度・ROC曲線の理論についてももう少し詳しく聞きたかった
17	診断の研究論文を書くの講座でいろいろな統計処理はされていましたが、それぞれの統計処理の基礎を詳しく説明していただけたらと思います。
18	ROC曲線について
19	病院業務のため、出席できず残念でした。埼玉の関連病院なので、時間的に厳しい面はありますが、土曜日であれば参加しやすいので、特に第2, 4であれば病院も休みなので、選択肢のひとつとして選択していただけたらうれしいです。
20	統計的データを定量的にまとめること。

5. 文献検索・情報収集・生存分析・診断の研究論文を書く＆探す際に、どのようなことで苦労されているかご記入ください。

#	Response
1	統計ソフトのアウトプットの意味の解釈
2	検索結果が膨大すぎる
3	統計手法の違いと、結論への結びつき、ないしは結論に通じる検定・統計の方向付け。具体的には、「(それぞれバラバラ)自分が使ってる統計ソフトの活用法」
4	統計にはあまり自信がないので、いろいろ本を読みながら苦労しながらやっています。
5	正直ダメな論文も多いので、それを省くのが大変
6	文献検索法についてはほとんど知識がなく、時間を浪費しています。生存分析についてもどれが適切な解析方法か悩みます。
7	研究デザインの正当性を見極めることやその解釈など
8	目標論文が見つからない、上手に絞れない
9	「インパクトファクター」とはなんぞや？その意味と調べ方に苦労しています。
10	院1年生につきまだ経験不足です。
11	endnoteが使えるようになりたいです。
12	やはり、文献検索・情報収集で苦労します。自分の求めるものにヒットしてしっかりした文献を探すのがひと苦労です。
13	的確で信頼できる論文の検索方法 効率よく必要な論文を読み解く方法
14	そもそも自分が使うことのできる手段(知識)が限られている 統計手法に関しては、あることは知っていてもどのように使えばよいのかわからない
15	検索した情報がよりよい情報なのか吟味すること
16	PubMedに慣れていないことどのような場合にどの統計手法が最適かわからないこと
17	対象の違いや、臨床研究における交絡因子の影響など、統計解析に関わってくる事項が非常に難しい。
18	膨大な量の英語の文献から探すことに苦労している。

#	Response
6	臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。
1	mix effect model
2	検定、推定など統計の基本的事項について。
3	研究方法に応じた、実際の統計ソフトの使い方、統計手法の選び方。土曜日、これくらいの時間で結構です。最後の講義のような、自分自身の研究発表や宣伝は必要ありません。研究会ではなく、実用的セミナーと理解してますので。
4	再度、生存曲線・ROC曲線の話を希望します。皆が活用したい統計の講演は、何度やっても良いと思います。
5	正直なところセミナー以外にも個人的に相關このっていただければありがたいです。
6	平日の夜1-2時間程度
7	生存分析の続編。文献検索法。英語論文作成のヒントなど。1・3・5週の土曜日は比較的臨床業務にも余裕があるため、今回の時間帯を希望します。
8	もう一度ROC曲線やロジスティック回帰分析など
9	529残念ながら診療の上でどうしても現場を離れることができず、参加することができませんでした。時間的には土曜日の15時以降か、平日の夕方以降(遅くはなりますが19時以降)、可能であれば同様の内容でもう一度セミナーを開催して頂けると幸いです。診療の現場では平日の夕方や土曜の午前まで診療があるため、その後の移動してからの参加はどうしても時間の制限が出てきてしまいます。
10	今回のように、大学院講義と同じにならない時として頂きたいです。
11	「統計学」はとても幅広い分野だと思います。今後も実例を挙げて、様々な統計学を学びたいと考えています。開催曜日はいつでもいいと思いますが、講義時間を考えると時間がまとめて取れる週末がよいのではと思います。
12	統計学の基本からわかっていないので、しかも何度聞いてもひとに説明できるほどにはわかっていないことを自覚すると、たちまち自信を失いしどろどろになる恐ろしい学習だと感じています。ですので基本をいくつかの例題とともに一つずつつぶしていくような講習会があればいいな、と希望しています。
13	ENDNOTEの初歩からお購したいと思います。土曜日の午後が希望です。
14	特別講義にも参加させて頂けたらうれしいです。
15	希望開催時間:平日夕方以降
16	臨床研究の具体的な例を、臨床現場の実際の患者データから、どのような視点をもって研究計画を立て、研究計画書を書いていけばよいか、順を追って示しつつ教示してほしい。またどのような統計をすればよいか、その選択のしかたも具体的に教えて欲しい。
17	画像診断 土曜日

「初学者のための臨床研究支援講座（6）～ゲノム情報を利用した疫学研究の立案・論文化のポイント」参加者アンケート

1. 臨床研究センター(KCRC)セミナー 参加者アンケート 2010.11.22(月)開催 初学者のための臨床研究支援講座(6)～ゲノム情報を利用した疫学研究の立案・論文化のポイント～ 今回のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。 Actions ▼			
満足		3	18%
どちらかといえば満足		7	41%
どちらかといえば不満足		6	35%
不満足		1	6%
Total		17	100%

2. セミナー開催当日は、どちらの会場で聴講されましたか? Actions ▼			
(1)【講演会場】相模原キャンパス:医学部M1号館 31講義室		8	50%
(2)【同時中継会場】白金キャンパス:法人本部 4F会議室		8	50%
Total		16	100%

**3. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください）** Actions | ▼

医学部附属臨床研究センター（KCRC）からの一斉送信メール（職員・学生あての一斉送信）		5	31%
医学部附属臨床研究センター（KCRC）からの一斉送信メール（過去の受講者あての一斉送信）		3	19%
北里大学大学院医療系研究科・学生への一斉送信メール（特別講義扱いとなったお知らせメール）		1	6%
医学部附属臨床研究センター（KCRC）のホームページ上のお知らせ		0	0%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		0	0%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介		1	6%
医学部附属臨床研究センター（KCRC）スタッフからの紹介		6	38%
その他		0	0%
<b>Total</b>		<b>16</b>	<b>100%</b>

**4. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかお聞かせください。（複数選択可）** Actions | ▼

研究計画書（プロトコル）作成者		10	62%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関する医師		3	19%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関するコメディカルスタッフ		4	25%
統計解析・分析担当者		7	44%
学会発表担当者		7	44%
論文執筆担当者（筆頭著者として）		9	56%
論文執筆担当者（著者の指導者として）		3	19%
研究事務局統括マネジメント担当者		1	6%
研究事務局事務担当者		2	12%
データ入力作業		4	25%
ランダム割付事務局スタッフ		1	6%
研究対象者		0	0%
臨床研究に携わった経験はない		1	6%
その他（上記以外の役割で臨床研究に参加） <a href="#">View Responses</a>		1	6%

**5. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。**

#	Response
1	研究論文に書くべき内容
2	観察的な臨床試験のチェックリストは、学部生の卒業研究講義の参考になりました。
3	・医学研究の論文を書く上での留意点がよく理解できた。・遺伝子研究の論文を書く人の立場・考えるべきことがよく理解できた。今後のコンサルテーションに生かすことが出来る。
4	論文作成時の必須項目に関するガイドラインについて説明を聞くことができ、役立った。
5	CONSORTは以前から知っていたが、STROBE Statementのことについて初めて知ったこと。
6	新しい基準が理解できた。
7	初学者向けだったのでしかたないのだろうが、特になかった。
8	より質の高い横断研究手順について学べたこと。

9	論文に書くべき内容のチェックリストが再認識させて頂きました。
10	It was useful for me due the fact that it was the first time I have heard Clinical Trial Related lecture in Japanese. Moreover it revised and updated my General knowledge concerning bias while conducting clinical trial and analysing the outcome information.
11	研究方法の概論的な内容が役に立ったと思う。
12	CONSORT声明というチェックリストの存在を始めて知った。
13	分析すべき点をまとめた指標があることを知ることができた。今後、研究をする際には利用できる情報だと思った。

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞き取った内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

#	Response
1	ゲノム研究についての内容は期待していたものとは違った。
2	倫理審査委員会の申請フォーマットや、申請時のチェックリストは、RCT用と観察的研究用とで分かれているとよいのに...といつも思うのですが、それについての演者の先生のご意見をお伺いしてみたかったです。
3	文字が小さく、さらに、6画面/1ページのため、読みづら過ぎた。もう少し、文字が大きければ、理解度も違ったものと思う。
4	臨床現場での具体的な立案時の注意点や方法について聞くことができれば良かった。
5	ITT解析、FAS解析についてももう少し詳しく知りたいと感じました。
6	個人の研究内容はよくわからない。
7	During the presentation it was difficult for me (the lack of Japanese language abilities) to fully understand all information presented-especially when no English was presented. I think it was difficult to perceive information related with statistical data presented (especially data tables). I think if most of biostatistics data presented in graphical mode it would be easier to perceive this information.
8	講義全体を通して、声が小さくて講義を聞き取りにくかったのが残念です。
9	ゲノム情報との関係をもっと聞きたかった。専門用語に慣れていないので難しく感じた。
10	論文のポインなどがわかりづらかったです。あと、マイクの関係かもしれないですが、聞き取りづらかったです。
11	細かな分析手順は勉強が足りず、分からないことが多かった。

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

#	Response
1	演者の声が小さく、司会の先生の声しか聞こえなかった。
2	ピンマイクを使用していたらと、聞き取りやすいと思います。
3	配布資料の文字が小さすぎた。事前に目次レベルで講演内容を教えてほしい。予習が可能になる。
4	白金会場で音声のボリュームが小さく、聞き取りづらかった。
5	講師の声が聞き取りにくかった。佐藤先生の声は聞こえました。
6	音声が悪く改善が必要。講義資料は配布されているのだから、画像として表示する意味があまりないのでは？(講演者も、ポインターなどで示すわけでもなかったし)。
7	しろがねの映像を映すことは意味がよいように感じました。
8	白金で受講しましたが、音声の小さくこと、講師の声が小さく聞き取りにくかった点を改善すべきだと思います。(佐藤先生の声は聞き取りやすかったですが、特に、質問した方の声は全く聞こえませんでした)
9	6時間も書きましたが、聞き取りづらかったです。
10	同時中継だったせいもあるのか、講義してくださった先生の声聞き取りづらかった(声が小さく、こもっていた)。

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

#	Response
1	生物統計の基礎や統計ソフトの使い方 論文の書き方 検索講習 EndNote
2	大学院で初学者用の統計講義がなくなってしまったので、KCRGで毎年、定期的で開催していただければ、と思います。院内共同研究のは幅広い、診療科横断的な研究の企画・提案や、情報交換の場を提供していただければと思います。臨床家を対象としたMPHのダイジェスト版講義シリーズがあれば、面白いと思います。
3	お任せいたします。
4	海外での臨床研究の学会発表時の注意点や工夫などに関する内容について開催して欲しい。
5	白金キャンパスで中継をいただいたので参加することができました。ありがとうございました。
6	初学者のセミナーや、あるいはWEBで勉強するもの、書物などはすでに存在しており、自分で勉強しようと思えばそこまでのレベルには到達できると思う。中級者向けの実践的なセミナーを望みます。
7	Biomedical statistic (overview, general terms)-this presentation in English and Japanese simultaneously.
8	・メディカルライティング・一般的な統計ソフトを使った実践的な演習・研究デザイン
9	以前EndNoteセミナーが白金で開催されたので相模原でも行なって欲しい。
10	臨床研究セミナーは今回初めて出席しましたが、定員というのは、厳密なのでしょう？かなり空いていたので、定員制にすることが良いのか疑問に思いました。
11	よりゲノム研究に関わる内容(ゲノム研究ならではの注意点や方法)について。

「初学者のための臨床研究支援講座 (7) B: 統計ソフト「Stata」セミナー医療統計コース」参加者アンケート

1. 本日、受講されたセミナーを選択してください				Actions
(A)統計ソフト「Stata」セミナー入門コース 3月8日(土)12:30~16:30		16	48%	
(B)統計ソフト「Stata」セミナー医療統計コース 3月10日(木)16:30~20:30		17	52%	
Total		33	100%	

2. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。

満足度	人数	割合
満足	19	54%
どちらかといえば満足	14	40%
どちらかといえば不満足	1	3%
不満足	1	3%
<b>Total</b>	<b>35</b>	<b>100%</b>

3. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください）

医学部附属臨床研究センター(KCRC)からの一斉送信メール(職員・学生あての一斉送信)	19	54%
医学部附属臨床研究センター(KCRC)からの一斉送信メール(過去の受講者あての一斉送信)	3	9%
北里大学大学院医歯学系研究科・学生への一斉送信メール(特別講義扱いとなったお知らせメール)	0	0%
医学部附属臨床研究センター(KCRC)のホームページ上のお知らせ	1	3%
EBM関連のメーリングリスト	0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター	3	9%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介	1	3%
医学部附属臨床研究センター(KCRC)スタッフからの紹介	7	20%
その他	1	3%
<b>Total</b>	<b>35</b>	<b>100%</b>

4. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかを聞かせください。(複数選択可)

研究計画書(プロトコル)作成者	15	43%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師	14	40%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるメディカルスタッフ	5	14%
統計解析・分析担当者	11	31%
学会発表担当者	18	51%
論文執筆担当者(筆頭著者として)	18	51%
論文執筆担当者(著者の指導者として)	7	20%
研究事務局統括マネジメント担当者	2	6%
研究事務局事務担当者	4	11%
データ入力作業	8	23%
ランダム割付事務局スタッフ	5	14%
研究対象者	4	11%
臨床研究に関わった経験はない	4	11%
その他(上記以外の役割で臨床研究に参加)	3	9%

5. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

#	Response
1	家賃と1日1時間以内、いられてため、回帰分析についてイメージをもつことができた。
2	回帰曲線の分らなかった所が少し理解できました。
3	基礎的なコマンドの入力方法
4	stataの基本的な使用法
5	基本的な使用法
6	stataについて、今回のセミナーで初めて知ったのですが、修士課程での研究分析、今後、臨床研究を行っていく際に参考させていただきたいと思っております。ありがとうございます。
7	回帰分析等
8	stataの基本的な使用法が少しわかるようになったように思います。
9	統計ソフトの説明を聞いたことがなく、なんとなく使っていたので大変勉強になりました。
10	Stataの存在、使い方について具体的に勉強できました。
11	実践的な点
12	データの読み込み、コマンド操作
13	分析の仕方の考え方の再発見。研究室がどこまで備わっていたように思う。
14	具体的なテーマに対して、STATAを使って解析作業を行い、データをもとに一定の結果を得るという一連の流れを学習して学べたことが役に立つと思いました。
15	使い方はある程度わかったが、どれを使えばいいのかは結構難しい
16	ROC曲線の曲線下面積の比較方法
17	講義で習ったSTATAの使い方を理解できた。
18	統計ソフトが堅実であればstataはこれに代えてくれる。ただこれを使うのはやはり自分の能力次第と再認識したことです。
19	ROC curveの作成方法、AUCの求め方。
20	初めてstataをPCで操作してみました。良い経験でした。
21	すべて勉強になりました。
22	ROC分析の概要
23	色々な課題
24	STATAについて、広く学ぶことができた。
25	実際に使ったので実感が湧いてよかった。

26 ヘルプの使い方 生存時間分析の仕方  
 27 データのまとめかた  
 28 すべて閉じ立ちました  
 29 すべて  
 30 STATAの概要を知ることができた

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明がなかった内容や、面白いと思った内容をお聞かせください。

8 Response  
 1 都市圏別の経済効果分析の最後の部分について、論議が熱かった。  
 2 根本的なソフトの使い方が慣れていないため、一度ではおぼえられなそうです。  
 3 最後の方の図解分析などは楽しかった  
 4 基本的なものを知らなかったのが良かったです  
 5 さらなる使用法  
 6 stataで、医療、医学系の研究における具体的な使用例を少しお聞かせいただけたら嬉しいです。  
 7 重回帰分析が楽しかった  
 8 ラベルの付け方を聞き取ってしまっただけの可能性があります。(手を動かすのが取れなくて)  
 9 コマンドを入れることごとく慣れておらず、一人で操作するのは使用が困難だと思いました。Stateなら多少の優越性が強調されるべきだと思います。  
 10 解りました  
 11 分散分析、検定法のコマンド操作法もよくわかりました。  
 12 何ぞ分析したいのかはさっぱりで、結局、コマンドの意味など理解しにくいように思う。基本的な分析から自分で立ててみるのからでしょう。  
 13 解りませんが、図解分析だけでなく、臨床研究で頻りに用いられる統計手法として、縦断データもどきSTATAを使って練習ができれば、今後の臨床研究に役立てられて良いのではないかと感じます。  
 14 統計についてかなり知ってないし、ついていけない人もいるのではないかと感じました。パラメトリック分析は、よくわかりませんでした。  
 15 自分が知っている分析が理解できたが、理解できていない分析はデータを打ち込んでみるのみで、消化不良が感じました。約10分間の講義が手元に残ります。  
 16 STATAの使い方はある程度理解できましたが、統計学的な知識がある程度ないと意味のある研究はなかなか見つからないと感じました。  
 17 解りました  
 18 統計ソフトの使い方に興味して理解できたが、データの中身の読み方に興味してはもっと詳しく説明が欲しい。(感がよかった方がよいと思う)  
 19 セミナーの内容が面白いがやっとならぬ。何を分析するのかわかりません。解りませんが、統計の基礎をおさらいします。  
 20 解りにくかった。データシートへの加工について詳しく教えてほしい

21 自分の統計知識での基本的な知識が不足していたので、理解が不十分でした。今度もう少し勉強しようとして、データの処理からの練習ができればと思います。  
 22 知識不足なのですが、頻りに用いられる解析手法の手法、例、等として、データの解釈の仕方などを勉強したいと思えます。  
 23 reg  
 24 jmpより使い方は簡単かもしれないが、基本的な統計の知識がないと、どの統計方法も選ぶべきか迷ってしまう。  
 25 データをどのように作って行くか。  
 26 統計の意味を十分理解して欲しいと願う  
 27 コマンドの探し方  
 28 ゼンブルデータの作り方

7. 今回のセミナーについて改善すべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

8 Response  
 1 操作不具合などについて、今後、あらかじめ対応が可なりと思ふ  
 2 経済効果分析はあまり医学と関係ないのでは思った  
 3 配布資料ももう少し大きく  
 4 また開催して欲しいです  
 5 大変勉強になりました。講師の方、スタッフの方の適切なアドバイスでスムーズに受講でき感謝申し上げます。  
 6 もう少し興味がほしいと思ふ  
 7 資料に載せている内容を使用しての演習が有り、よかったです。  
 8 できれば、医療関係の例で進めていただけたらと思います。  
 9 なし  
 10 STATAで何ができるかの全体的な概要もよくわかりました。  
 11 今後進んで演習にSTATAに関する実用的なセミナーを開催していただきたい。理論的な統計の紙ではなく、STATAなどの統計ソフトを使って、今日のセミナーのような演習ができればいいと思います。  
 12 現状で十分良いと思ふ。  
 13 解りました。土曜日よりも参加しやすかった。  
 14 実際のデータから分析の具体的な方法を一から教わりたいです。  
 15 PCを使って演習をしてみることもとても良いことでした。  
 16 解り  
 17 早い  
 18 PCでスクリーン形式でできる会場があるととても良い  
 19 ゼンブルデータを解りたい  
 20 1と2は分かりやすかった。3の生存時間解析はregが分かりにくいので、もう少し詳しく説明してほしいとありがたい

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間等についてもご希望があればお聞かせください。

8 Response  
 1 臨床で役に立つ具体的な統計解析の概念を授業して欲しいと思ふ  
 2 もっと多くの日程で開催して欲しい  
 3 SPSS, STATAの基本使用法、個人エンガージメントの概念  
 4 stat menuもやって欲しい  
 5 興味があるが、今回のような土曜日の午後はとても滞り難いです。  
 6 スタッフの準備は申し分ありませんが、土曜日や時間外にしか参加できないのでよくお聞きいたします。  
 7 平日日中は、臨床業務が忙しすぎて参加が困難です。土曜日中心に開催していただけたらと思います。  
 8 この機会を面白く活用して欲しいと思ふ  
 9 臨床研究センターの設備はよく、大学の設備だと思いますが、臨床研究を推進したいのであれば、実際に多くの研究者が利用できるような統計ソフトやknowhowなどの必要最低限の環境整備と教育を具現的かつ計画的に実行すべきだと思います。  
 10 基礎から理解できるような統計学の授業も行ってほしいです。  
 11 今後は臨床研究に関するセミナーをたくさん開催していただきたいです。  
 12 今回のように面白く、有意な内容が多かったです。  
 13 臨床系なので、この時期だと参加できます。  
 14 統計の基本講座、jmpの講座。  
 15 夕方、土曜日など  
 16 多変量解析の準備としての基本的統計(分散分析と可変性postrhoc test)および散布図と相関関係の一覧の出力方法引き取りたいと思ふ  
 17 今後は研修者層などのセミナー  
 18 今回の分析内容の統計学的な基礎

「初学者のための臨床研究支援講座 (8) 統計ソフト「SPSS」セミナー」参加者アンケート



1. 本日、受講されたセミナーを選択してください。

セミナー名	人数	割合
(C)統計ソフト「SPSS」セミナー 3月15日(水)10:30~17:30	17	65%
(D)統計ソフト「SPSS」セミナー 3月14日(火)10:30~17:30	9	35%
<b>Total</b>	<b>26</b>	<b>100%</b>

2. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。

満足度	人数	割合
満足	14	58%
どちらかといえば満足	10	42%
どちらかといえば不満足	0	0%
不満足	0	0%
<b>Total</b>	<b>24</b>	<b>100%</b>

3. 今回のセミナー情報まで、どのように入手されましたか？(受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください)

入手方法	人数	割合
医学部附属臨床研究センター(0(CRC))からの一斉送信メール(職員・学生あての一斉送信)	10	38%
医学部附属臨床研究センター(0(CRC))からの一斉送信メール(過去の受講者あての一斉送信)	4	15%
北里大学大学院医歯薬学研究科・学生への一斉送信メール(特別連絡員になったお知らせメール)	2	8%
医学部附属臨床研究センター(0(CRC))のホームページ上のお知らせ	1	4%
EBM関連のメーリングリスト	0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター	3	12%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介	0	0%
医学部附属臨床研究センター(0(CRC))スタッフからの紹介	4	15%
その他	2	8%
<b>Total</b>	<b>26</b>	<b>100%</b>

4. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかを聞かせてください。(複数選択可)

お立場	人数	割合
研究計画書(プロトコル)作成者	12	48%
研究対象者の治療や対象者データ収集に携わる医師	9	36%
研究対象者の治療や対象者データ収集に携わるコメディカルスタッフ	7	28%
統計解析・分析担当者	10	40%
学会発表担当者	14	56%
論文執筆担当者(筆頭著者として)	16	64%
論文執筆担当者(著者の指導者として)	6	24%
研究事務局統括マネージャースタッフ	2	8%
研究事務局事務担当者	2	8%
データ入力作業	2	8%
ランダム事務事務局スタッフ	3	12%
研究対象者	1	4%
臨床研究に関わった経験はない	1	4%
その他(上記以外の役割で臨床研究に参加)	1	4%

5. 今回のセミナーの中で、「例にたつと思った内容」を記入してください。

#	Response
1	SPSSで出来ること
2	検定や分析を行なうにあたり必ずチェックしなくてはならない項目、図が分かり今まで無視して置いていた部分の誤りが見つけれぬに立った。地道のことで「たい」は残れが出てきて集中して聞けなかったのが残念でした。もっとい良かった。
3	各解析法利用時の使用手順基準とそれぞれの性質について
4	回帰分析
5	医療統計の基礎を分かりやすく学べた点があった。
6	線形回帰分析の内容 表の意味等分からないことがありどこを見れば良いかある。その確が何を意味しているか分かりやすかったです。
7	重回帰、ロジスティック回帰分析
8	ソフトのアウトプットの解釈
9	重回帰、ロジスティックの内容
10	全部
11	ロジスティック分析
12	操作法が少し見えてきました。
13	分散分析の再勉強が出来ました。回帰分析を知ることが出来ました。
14	SPSSの真実的な使い方
15	回帰分析が分かりやすかったです。
16	全ての項目が役に立ちました。医療系の研究科の正規の授業としてやってほしいです。研究のために全て大切で必須の内容ばかりでした。
17	生存分析 ロジスティック 回帰分析
18	統計の基本的な部分が理解できた。

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しかった内容をお聞かせください。

#	Response
1	データの入力の注意点 カテゴリデータなどのデータ種類別
2	検定、分析説明と操作が同時であったため図や表が写らず見比べながら整理することができなかった。
3	ソフトウェア自体の作業手順の詳細
4	演習を含めたセミナーだったら理解が深まると思いました。ロジスティック回帰以降
5	因子分析、各統計法のoptionalオプションの説明 outputについての詳細説明
6	ROC曲線、Cox回帰が載りました。
7	Cox回帰が載りました。
8	SPSSのオプション設定
9	Cox回帰のところ
10	後半全部聴きました。つまり以前 start-view で分散分析、post-hoc testのみ処理の経験がある。
11	ROC曲線
12	操作の実際
13	回帰分析が載りました。
14	資料の後半部分、少し速度が遅くなった。
15	SPSSの操作手法についてぜひ教えてほしいと思います。
16	ロジスティック 重回帰分析

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

#	Response
1	知らないことがいっぱいだったので時間がいっぱいになり最後1Hは集中できませんでした
2	もう少し時間が長い方が受けやすかったです。回数を分ける等
3	資料の図をもっと大きくしてください
4	引き続き開催していただきたい
5	ぜひ後半部分(4.5.6.)論文で使うところターゲットをしまった練習も期待しています
6	このままでもと思います
7	実践的な操作の仕方など
8	特にありません
9	「統計の紙」と「操作法」を分けると良いと思います
10	特にありません
11	シリーズでお集、致します。送らせて下さい
12	セミナーの広報、運面はすばらしく資料もとても分かりやすいものでした。出来れば2-3日間で同様の内容をカバーして欲しいです。短時間でボリュームが非常に大きくて消化不良でもったいなかったです
13	2回に分けて欲しい、時間が長い

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

#	Response
1	しかしSPSSは必要であり今までの研修の中で一番私にとってはおもなりました
2	今後ぜひ参加させてほしいと思います。ありがとうございます
3	年間を通して臨床研究に必要な内容(疫学的事実、統計学的事実など)を体系的に学べるようになると北里大学の研究レベルが上がって良いと思います
4	因子分析、AMOS、DECISION TREE、PROGRAMMING言語の入門知識
5	同上
6	テーマごとご集、セミナーもやって欲しい
7	いつでもOK
8	MacのStart Viewを使っている人がたくさんいると思います。Start Viewを使っているSPSSに乗り換えることができない(作図機能)を教えてくださいと助かります
9	開催で、構いません
10	他大学の大学院のように大学でもSPSSがようやく学べる環境を作っていただき本当に感謝です。系統的に学ぶことが出来なかったのもとても有意義でした。研究者としてツールの原理原則の基礎を学ぶことは質の高い研究を将来してけるために最低限必要なことだと思います。今回は正規の授業の中に入れてほしいです

「初学者のための臨床研究支援講座 (8) 統計ソフト「SPSS」セミナー」参加者アンケート (続き)

1. ご所属

#	Response
1	消化器内科
2	小児
3	医療系研究
4	脳外科
5	医学教育研究開発センター(スキルラボ)
6	医療衛生学部
7	看護学部
8	医療系研究科労働衛生
9	一般教育学部
10	北里臨床研究センター
11	呼吸器内科
12	北里救命センター
13	大学院医療系研究科
14	臨床研究センター
15	医療系研究科
16	北里大学院医療系研究科修士課程1年
17	環境医科学科労働衛生学
18	北里大学院医療系研究科
19	看護学部
20	医療系研究科
21	医学部 統合部

(2~4の質問は個人情報をお問うものなので省略)

5. IBM SPSS Statisticsの使用経験についてお聞かせください。

Response	Count	Percentage
初めて知った	2	9%
知っていたが利用したことがない	6	26%
多少使ったことがある	7	30%
研究に利用している	8	35%
その他	0	0%
テキスト記入欄	0	0%
Total	23	100%

6. アプリケーションの使用経験についてお聞かせください。

Response	Count	Percentage
Excel	19	86%
SAS	3	14%
STATA	5	23%
R	2	9%
その他	6	27%
テキスト記入欄	6	27%

7. 今回のセミナーに参加された理由をお聞かせください。 Actions | ▼

IBM SPSS Statisticsの概要が知りたいから		10	43%
IBM SPSS Statisticsの操作方法を学びたいから		12	52%
IBM SPSS Statisticsの情報を知りたいから		7	30%
論文作成等、研究に必要だから		14	61%
その他		4	17%
テキスト記入欄		4	17%
<a href="#">View Responses</a>			

8. セミナーについての評価をお願いします。本セミナーの内容は目的と一致していましたか？ Actions | ▼

1 7十分		5	22%
2 6		8	35%
3 5		7	30%
4 4		1	4%
5 3		2	9%
6 2		0	0%
7 1不十分		0	0%
<b>Total</b>		<b>23</b>	<b>100%</b>

9. 理由

#	Response
1	自分自身のデータ分析と関連させて聞きましたので目的と一致していました
2	操作方法がメインと思ってましたので、でも勉強になりました。
3	時間の関係で難しくと思いますがソフトウェアの使用手順ももう少しゆっくりに教えて頂けると良かったです。次の機会をお願いします。
4	実習口はまだ使用段階にはなってない

10. 本セミナーの内容ほどの程度理解できましたか？ Actions | ▼

1 7十分		1	4%
2 6		8	35%
3 5		6	26%
4 4		6	26%
5 3		1	4%
6 2		1	4%
7 1不十分		0	0%
<b>Total</b>		<b>23</b>	<b>100%</b>

11. 理由

#	Response
1	ロジスティック回帰は参加したことがないので
2	初心者にとって難しすぎた
3	地元の対応で疲れが出てしまし眠くなって残念
4	私の強みは、つかない

12. 本セミナーの時間はどうでしたか？ Actions | ▼

1 7十分		7	30%
2 6		6	26%
3 5		3	13%
4 4		4	17%
5 3		2	9%
6 2		0	0%
7 1不十分		1	4%
<b>Total</b>		<b>23</b>	<b>100%</b>

13. 理由

#	Response
1	内容が短くて短すぎる
2	ボリュームが短くて少し短い印象でした
3	もっと実習に良いたいと心が動かされた

14. 資料についてどのように思いますか？ Actions ▼

Rating	Count	Percentage
7 十分	3	13%
6	9	39%
5	6	26%
4	4	17%
3	1	4%
2	0	0%
1 不十分	0	0%
<b>Total</b>	<b>23</b>	<b>100%</b>

15. 理由

#	Response
1	スライドの番号をみやすくしていただければ最高です。
2	理解しやすい
3	とても良いが1ページの情報量が多すぎるメモを書くスペースがないので分散してほしい
4	P30.40の標の重回帰分析の説明が読みあたってが画面のプリントがなくて残念
5	SPSSの投入過程が分からない人が多くその過程の資料がほしい

16. 講師のプレゼンテーションの印象はどうでしたか？ Actions ▼

Rating	Count	Percentage
7 非常に満足	5	22%
6	13	57%
5	2	9%
4	1	4%
3	0	0%
2	2	9%
1 非常に不満	0	0%
<b>Total</b>	<b>23</b>	<b>100%</b>

17. 理由

#	Response
1	小冊子少し遅かったです。
2	とても明快だった
3	急ぎすぎず良い印象です

18. 講師の質問や問題点の対処の印象はどうでしたか？ Actions ▼

Rating	Count	Percentage
7 非常に満足	6	27%
6	11	50%
5	4	18%
4	1	5%
3	0	0%
2	0	0%
1 非常に不満	0	0%
<b>Total</b>	<b>22</b>	<b>100%</b>

19. 理由 Actions ▼

0 Responses

20. 本セミナーの全体の満足度ほどの程度ですか？ Actions ▼

Rating	Count	Percentage
7 非常に満足	5	23%
6	9	41%
5	4	18%
4	2	9%
3	1	5%
2	1	5%
1 非常に不満	0	0%
<b>Total</b>	<b>22</b>	<b>100%</b>

21. 理由

#	Response
1	統計の本を読めば分かる内容も多くありましたので
2	各解析法、分析法の再確認ができました

22. 講師のペースはどうでしたか？ Actions ▼

Rating	Count	Percentage
1 速い	1	4%
2 ちょうどよい	15	65%
3 遅い	7	30%
<b>Total</b>	<b>23</b>	<b>100%</b>